

# 明治150年記念

## 「教育に関するシンポジウム」

平成30年は、明治改元から満150年の節目の年に当たります。

開国以降、西洋の文明を取り入れながら発展を進めた日本。

教育についても、明治5年の「学制」公布より様々な広がり発展しながら現代に繋がっています。

今回、近代化を支えた明治期の教育を振り返るとともに、

現代の教育を見つめ、未来の時代に求められる教育の姿を考えます。



～明治から現代を見つめ、未来の教育を展望する～

平成30年

# 12月19日(水)

13:00～17:00(受付12:30～)

## 文部科学省 東館 3階講堂

(東京都千代田区霞が関3丁目2番2号)

主催：文部科学省

申し込み方法

お申し込み・詳細は文部科学省HPをご覧ください。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/meiji150kyouiku/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/meiji150kyouiku/index.htm)



お申込みに関する問い合わせ先：株式会社アイフィス内

TEL:03-5395-1203 e-mail:m150education@ifys.jp

※定員になり次第受付を終了とさせていただきます。予めご了承ください。



# 文部科学省

# 明治150年記念「教育に関するシンポジウム」

開会挨拶 文部科学大臣 柴山 昌彦

プログラム

## [第1部テーマ]高等教育(13:10~14:55)

明治期の高等教育への投資が我が国の発展に大いに寄与したこと、今後の高等教育の方向性等について議論する。

### 基調講演(13:10~13:40)

## 「高等教育機関における 学術研究の芽生えと発展(仮題)」

佐々木 毅 氏 (元東京大学総長・東京大学名誉教授)



政治学者、日本学士院会員、第27代東大総長。東京大学名誉教授、法学博士。専門は政治学・政治学史。著者に『政治学講義』、『プラトンの呪縛』、『政治の精神』等多数。日本政治学会理事長、政治思想学会代表理事、国立大学協会会長、中教審大学分科会長などを歴任し、2016年6月より一般社団法人学士会理事長。

### パネルディスカッション(13:45~14:55)



コーディネーター  
**板東 久美子 氏**

1979年東京大学法学部卒業。その後文部省(当時)に入省し、秋田県副知事や文部科学省生涯学習政策局長、高等教育局長、文部科学審議官、消費者庁長官などを歴任し、平成30年4月に日本司法支援センター理事長(現職)に就任。

パネリスト



**片峰 茂 氏**

1976年長崎大学医学部卒業、1982年東北大学医学研究科(博士)修了。その後、長崎大学助手、米国立がん研究所国際研究員等を経て、1998年長崎大学教授(〜2008年)。専門領域はウイルス学(とくにプリオン)。2008年より3期9年間にわたり長崎大学長を務め、2017年9月に退任。



**北川 源四郎 氏**

1974年東京大学理学系研究科数学専攻博士課程中退、理学博士。統計数理研究所所長(2002年-2011年)、情報・システム研究機構長(2011年-2017年)を歴任。現在、東京大学数理・情報教育研究センター特任教授、明治大学先端数理科学インスティテュート所員・客員教授。研究分野は時系列解析、統計的モデリングなど。



**清家 篤 氏**

1992年慶應義塾大学商学部教授、2007年より商学部長、2009年から2017年5月まで慶應義塾長。これまでに、日本労務学会会長、日本私立大学連盟会長、世界経済会議(WEF)グローバル・ユニバーシティ・リーダーズ・フォーラム委員などを歴任。現在は、日本私立学校振興・共済事業団理事長、国際労働機関(ILO)仕事の未来世界委員会委員、慶應義塾学事顧問。専門は労働経済学。



**吉見 俊哉 氏**

1957年生。東京大学大学院情報学環教授。東京大学出版会理事長。社会学・文化研究専攻。東大大学院情報学環長・学際情報学府長、東大新聞社理事長、東大副学長・教育企画室長等を歴任。主な著書に、『都市のドラマトウルギー』『メディア時代の文化社会学』『大学とは何か』『文系学部廃止』の衝撃』等多数。

## [第2部テーマ]初等中等教育(15:10~16:55)

明治期の初等中等教育を振り返るとともに、今後の教育の在り方を展望する。

### 基調講演(15:10~15:40)

## 「我が国の初等中等教育の成果と 未来に求められる教育(仮題)」

小川 正人 氏 (放送大学教授・東京大学名誉教授)



教育学博士。東京大学総長補佐、東京大学大学院教育学研究科教授、東京大学教育学部附属中・高等学校長を歴任。現在放送大学教養学部・大学院文化科学研究科教授、東京大学名誉教授。また、文部科学省中央教育審議会副会長、同・初等中等教育分科会長。戦後日本の教育行財政制度や教育改革に関する著書がある。専門は教育政策、教育行政学。

### パネルディスカッション(15:45~16:55)



コーディネーター  
**鈴木 寛 氏**

1964年生まれ。東京大学法学部卒業後、1986年通商産業省に入省。1999年慶應義塾大学助教授。2001年参議院議員初当選。文部科学副大臣(2期)。2014年2月より東京大学教授、慶應義塾大学教授。2015年2月より文部科学大臣補佐官(4期)。現在、東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策・メディア研究科教授。

パネリスト



**新井 紀子 氏**

一橋大学法学部およびイリノイ大学数学科卒業、イリノイ大学5年一貫制大学院を経て、東京工業大学より博士(理学)を取得。専門は数理論理学。研究者情報システムResearchmapの研究開発、人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトディレクタ、読解力を診断する「リーディングスキルテスト」の研究開発を主導。



**小川 正人 氏**

教育学博士。東京大学総長補佐、東京大学大学院教育学研究科教授、東京大学教育学部附属中・高等学校長を歴任。現在放送大学教養学部・大学院文化科学研究科教授、東京大学名誉教授。また、文部科学省中央教育審議会副会長、同・初等中等教育分科会長。戦後日本の教育行財政制度や教育改革に関する著書がある。専門は教育政策、教育行政学。



**門川 大作 氏**

1950年京都市生まれ。立命館大学法学部卒業。京都市教育長を経て2008年より京都市長。徹底した「現地現場主義」をモットーに、8,100カ所を超える市民活動の場で市民・現場の声に耳を傾け、語り合う。教育長時代は「地域ぐるみ」でコミュニティスクールや高校・総合支援学校改革などを推進し、教育再生会議や中央教育審議会の委員を歴任。



**工藤 勇一 氏**

山形県公立中学校教員、東京都公立中学校教員、東京都教育委員会、目黒区教育委員会、新宿区教育委員会教育指導課長を経て、2014年から千代田区立麹町中学校長。学校教育を本質から見直し、目的と手段の視点から形骸化した教育活動を徹底的にスクラップし、再構築している。定期考査や宿題の全廃、固定担任制の廃止などを実施。

閉会挨拶 文部科学副大臣 浮島 智子